

水稻生育情報 No.5

発行日：令和6年8月20日
 県央農林事務所 経営・普及部門
 (水戸地域農業改良普及センター)

高温登熟による品質低下を防ぐため、間断かんがいを行うとともに、
 適期収穫により品質向上に努めましょう。

【管内生育定点調査ほ場(コシヒカリ)の出穂状況と積算気温による成熟期の予測(8/19時点)】

- ・7月下旬から8月上旬(7/21~8/10)にかけての水戸市の気象は、平年に比べて平均気温は全期間を通して高く、日照時間は全期間を通して多かった。
- ・出穂期は平年より5~8日早く、積算気温からみた成熟期は、6~10日早いと予想される。

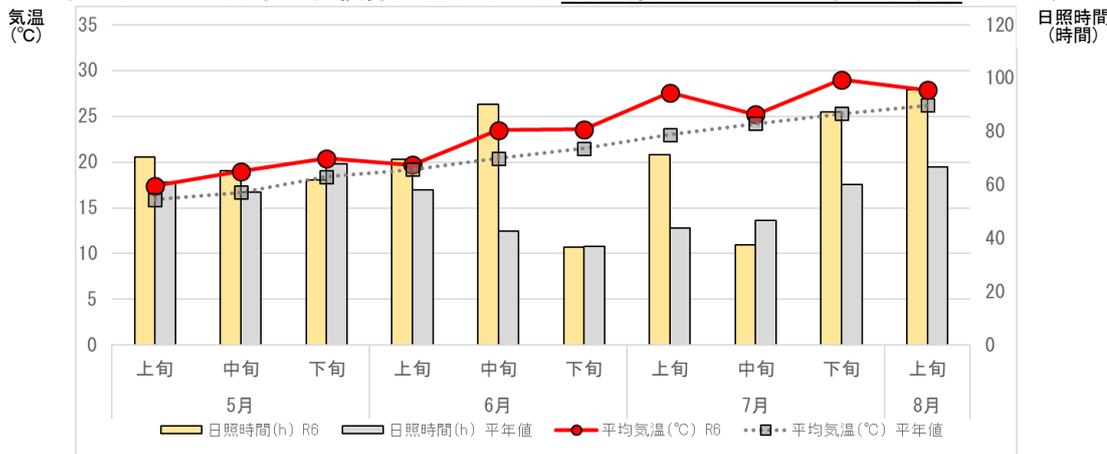


表 積算気温による成熟期予測 (8/19時点)

| 調査地点 | 移植日 (平年値) | 出穂期 (平年値) | 登熟までに必要な 積算気温の 平年値 (°C) ※ | 出穂期~8/18 までの積算平 均気温 (°C) | 8/18~成熟期ま でに必要な積算 平均気温 (°C) | 予測成熟期 (平年値) |
|-------------|----------------|---------------|---------------------------------|--------------------------------|-----------------------------------|----------------|
| 水戸市 坏大野 | 5/4 (5/7) | 7/26 (8/2) | 1,123 | 684 | 439 | 9/4 (9/14) |
| 茨城町 上石崎 | 5/3 (5/9) | 7/24 (8/1) | 1,121 | 742 | 379 | 9/2 (9/12) |
| 小美玉市 上玉里 | 5/19 (5/23) | 8/2 (8/7) | 979 | 484 | 495 | 9/6 (9/12) |
| 那珂市 鹿島 | 5/21 (5/26) | 8/3 (8/10) | 969 | 457 | 512 | 9/7 (9/16) |

※積算気温の平年値はR1~R5における出穂期~成熟期までの積算気温の5か年平均。

※予測成熟期は、気温が平年並と仮定した場合で、今後の気象により変動するため、成熟期は帯緑籾率を確認すること。

【今後の栽培管理】

1 適正な水管理で、大粒の米づくりと乳白粒の発生軽減を目指す

- ◆高温登熟による乳白粒・胴割粒等を防止するため、落水までは間断かんがいを行いましょう。
- ◆早期落水は、乳白粒・胴割粒の発生を助長します。落水時期の目安は、「あきたこまち」で出穂後25日頃、「コシヒカリ」・「ふくまる」で出穂後30日頃です。

2 適期収穫

- ◆コンバインによる「コシヒカリ」の収穫適期は、成熟期(緑色を残した籾の割合が全体の10%程度)のときから5日間であり、出穂後35~40日頃です。
- ◆登熟期間の高温や刈り遅れにより胴割粒の発生が著しく増加するため、適期に収穫できるよう登熟積算温度や、帯緑籾率(緑色を残した籾の割合)から収穫適期を判断しましょう。
- ◆出穂のばらつきにより、登熟ムラが大きい場合には、胴割粒を防止する観点から、早めに登熟した穂に合わせて2~3日程度早刈りしましょう。
- ◆台風や大雨等により倒伏した場合には、未熟粒や穂発芽等の発生による品質の低下が懸念されるため、倒伏部分の刈り分けを検討するとともに、適期収穫に努めましょう。

3 適正な乾燥

- ◆急激な高温乾燥は胴割粒を増加させるため、穀温が40°C以下で乾燥します。乾燥の目標水分は15.0%ですが、乾燥機を一旦停止させ、水分の戻りや進み具合を確認して仕上げましょう。
- ◆高水分籾を収穫した場合や水分のバラツキが大きい場合には、連続した乾燥により胴割粒の発生につながるため、籾水分が18%程度で一度乾燥機を止め、1日程度貯留した後に再度乾燥する二段乾燥を行いましょう。